

【道路建設課所管 再評価審議資料】

- 再評価対象箇所一覧表 p 1

- 平成29年度 再評価実施箇所
 - 道路改築事業（社会資本整備総合交付金） p 2～5
 - 4）（国）418号 中洞市場工区 p 6～14
 - 5）（主）岐阜巣南大野線 重里～森工区 p 15～23
 - 6）（一）肥田下石線 土岐津・下石工区 p 24～34

平成29年度 再評価対象箇所一覧表 8月4日審議箇所

[県土整備部 道路建設課]

番号	事業名	路線・地区 ・河川名等	実施箇所 (市町村名)	採択 年度	完了 予定 年度	事業概要			全体事業費 (百万円)		実施済み額 (百万円)		進捗率 (%)		経過年数 (H28.3現在)	政策との 位置付け	関連事業の 進捗状況	社会経済情勢 等の変化及び 地元の意向	環境との調 和への配慮 事項	事業費縮減	費用対効 果分析	対応方針 (案)	特記事項
						全体事業量 (km)	実施済事業量 (km)	事業 実施率	用地補償費		用地補償費		用地補償費										
									工事費等	工事費等	工事費等	工事費等	工事費等										
4	道路改築事業	(国)418号 中洞・市場工 区	山県市・関市	H3	H32	5.91	4.97	84.1%	10,300	9,950	97.0%	26	県土1,700km骨格 幹線ネットワーク 構想の推進 災害時に有効に機 能するネットワーク の確保 隘路・線形不良箇 所の解消による円 滑な交通の確保	-	-	切土面積の 縮小による 地形改変の 抑制	盛土材の流 用によるコス ト縮減	1.2 (1.2)	継続	※前回再 評価H23			
					5,000	5,000	100.0%																
					5,300	4,950	93.0%																
5	道路改築事業	(主)岐阜県南 大野線 重里 ～森工区	瑞穂市	H24	H34	0.60	0.10	16.0%	940	150	16.0%	5	渋滞緩和による円 滑な交通の確保 隘路・線形不良箇 所の解消による円 滑な交通の確保	-	-	周辺住民に 対する防音 措置実施	盛土材の流 用によるコス ト縮減	2.3 (-)	継続				
					140	125	89.0%																
					800	80	10.0%																
6	道路改築事業	(一)肥田下石 線 土岐津・下 石工区	土岐市	H10	H40	4.20	2.20	52.4%	15,500	8,370	54.0%	19	渋滞緩和による円 滑な交通の確保 観光交流や産業 振興の推進 災害時に有効に機 能するネットワーク 確保	-	新たな地域開 発による交通 集中への対応	希少植物の 保全、希少 猛禽類に配 慮した工事 推進	現場発生土 の有効利用 による処分費 縮減	1.2 (1.2)	継続	※前回再 評価H24			
					2,300	1,863	81.0%																
					13,200	5,412	41.0%																

費用対効果分析:()は前回評価時の投資効果率

平成29年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 道路建設課

○事業制度について	事業名	道路改築事業（社会資本整備総合交付金）	
	事業目的	地方公共団体等が行う社会資本の整備その他の取組を支援することにより、交通の安全の確保とその円滑化、経済基盤の強化、生活環境の保全、都市環境の改善及び国土の保全と開発並びに住生活の安定の確保及び向上を図ること。	
	採択基準	地域住民の日常生活の安全性若しくは利便性の向上を図るために必要であり、又は快適な生活環境の確保若しくは地域の活力の創造に資すると認められるもの。	
	概要 (メニュー)	現道の拡幅や線形改良またはバイパス等の建設	
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≪B≫	<ul style="list-style-type: none"> ・走行時間短縮便益 ・走行経費減少便益 ・交通事故減少便益
		その他項目	
	費用 ≪C≫ の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の積み上げ基準＝道路整備に要する事業費＋道路維持管理に要する事業費 現在価値算出のための社会的割引率：4% 基準年次：評価時点 検討年数：50年間 	
	費用便益比の基準	費用便益比（B/C）1.0以上	

平成29年度 公共事業再評価について (道路改築事業)

平成29年8月

岐阜県 県土整備部 道路建設課



道路改築事業の整備方針

考え方

岐阜県では、平成18年度に策定した「県土整備ビジョン」を踏まえつつ、「**活力**」、「**安心・安全**」を**重点目標**とし、道路整備に取り組んでいます。

重点目標

活力

●物流・観光、地域経済の持続的発展の基礎となる道路整備

- ・ **県土1700km骨格幹線ネットワーク構想の推進**
- ・ 渋滞緩和による円滑な交通の確保
- ・ 観光交流や産業振興の推進
- ・ **高速道路へのアクセス向上**

安全・安心

●災害に強い県土づくりの根幹となる道路整備

●地域の生活を支え、人に優しい安全で快適なまちづくりを支える道路整備

- ・ **災害時に有効に機能するネットワークの確保**
- ・ 雨量規制区間の解消
- ・ 隘路・線形不良箇所による円滑な交通の確保

道路改築事業の整備方針

重点施策(平成29年度)

ひとやしごとを岐阜に呼びこむための社会資本の整備

- ◇物流・観光、地域経済の持続的発展の基礎となる広域ネットワーク・インフラの整備促進
 - ◇東海環状自動車道やりニア中央新幹線の開通・開業効果を県内全域に波及させるため、濃飛横断自動車道などのアクセス道路の整備推進
- 東海環状自動車道西回り区間及びICアクセス道路の整備促進
 - 東海北陸自動車道四車線化の整備促進
 - 濃飛横断自動車道（中津川工区）の整備推進
 - 地域活性化や地域の安全・安心につながる幹線道路等の整備

強靱な県土づくりの推進

- ◇大規模災害時に、救助・救援活動や物流等の社会経済活動に必要な道路ネットワーク等の整備推進
- 幹線道路ネットワーク（東海環状自動車道西回り区間、東海北陸自動車道の4車線化、中部縦貫自動車道）の整備促進
 - 濃飛横断自動車道（中津川工区）の整備推進
 - 県土強靱化に資する道路ネットワークの整備及び機能強化

平成29年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔道路建設課〕

番号	4	事業名	道路改築事業（社会資本整備総合交付金） （路線・河川名等） （一般国道418号 中洞・市場拡幅）
事業実施箇所	やまがたしきの 山県市佐野 ～ せきしむげがわちようおじの 関市武芸川町小知野		事業主体 岐阜県
採択年度	平成3年度	完了予定年度	平成32年度
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>一般国道418号は福井県大野市を起点とし長野県飯田市に至る延長約176kmで、そのほとんどが緊急輸送道路にも指定されている重要な幹線道路である。</p> <p>当該事業はこのうち山県市～関市間の5,910m区間を2車線拡幅するものであり、県土1,700km骨格幹線ネットワーク構想の推進、緊急輸送道路として災害時に有効に機能するネットワークの確保を目的としている。</p>		
事業概要	<p>事業延長：5,910m 車道幅員：3.25m×2車線 歩道幅員：2.50m（片側）</p> <p>主要構造物：愛相橋L=74m、網掛大橋L=128m</p>		
概要図	<p>至 本巣市根尾 至 郡上市 一般国道418号 中洞・市場拡幅 L=5,910m 至 関市河戸</p> <p>起点 山県市佐野 終点 関市武芸川町小知野</p> <p>愛相橋 網掛大橋</p> <p>武儀川</p> <p>中洞工区 L=3,910m 市場工区 L=2,000m</p> <p>至 岐阜市 至 岐阜市</p>		
			<p>(写真①: 中洞工区の現況写真)</p>
			<p>(写真②: 市場工区の現況写真)</p>

事業再評価 道路改築事業

一般国道418号 中洞・市場拡幅

県土整備部 道路建設課

平成29年8月



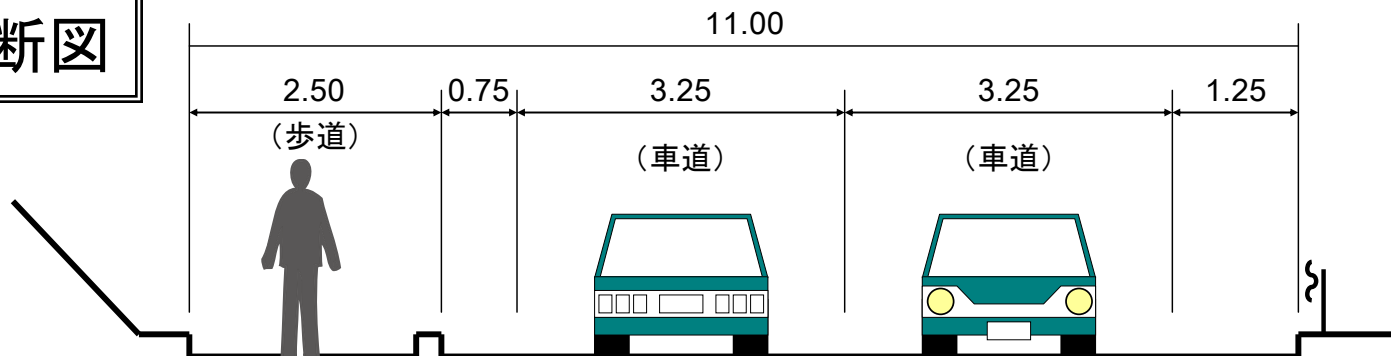
位置図



事業概要

- ◆起 終 点：やまがたし さの山せきし むげがわちょう おじの県市佐野～関市武芸川町小知野
- ◆全体延長：5, 9 1 0 m
- ◆総事業費：約 1 0 3 億円
- ◆事業着手：平成 3 年度
- ◆完成予定：平成 3 2 年度
- ◆幅 員：車道 3. 2 5 m × 2 車線
：歩道 2. 5 0 m (片側)

標準横断図



事業の目的

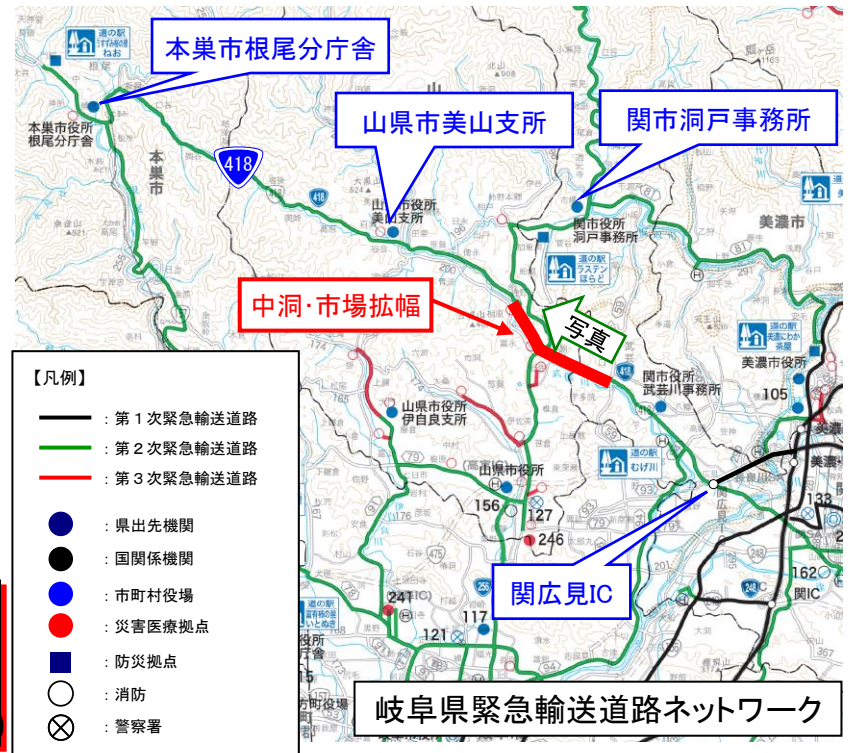
◆災害時に有効に機能するネットワークの確保

- 国道418号は第2次緊急輸送道路に指定
- 当該区間は、関広見ICと主要な防災拠点を結ぶ最短経路
- 隘路や線形不良箇所が残されており、災害直後の応急活動に支障をきたす恐れ

隘路・線形不良箇所



H25被災状況(路側決壊)



道路改良により、災害時の円滑な
救援・救急活動を支援

費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 90%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 8%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 2%

投資的効果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.2 \quad \left[\begin{array}{l} \text{前回再評価時} \\ \text{(H23年度)} \\ 1.2 \end{array} \right]$$

※費用便益分析マニュアル（国土交通省H20.11）に基づき算出

進捗状況

全体進捗率 97% ※

用地補償取得率100% ※

工事進捗率 93% ※

※ 平成28年度末事業費ベース

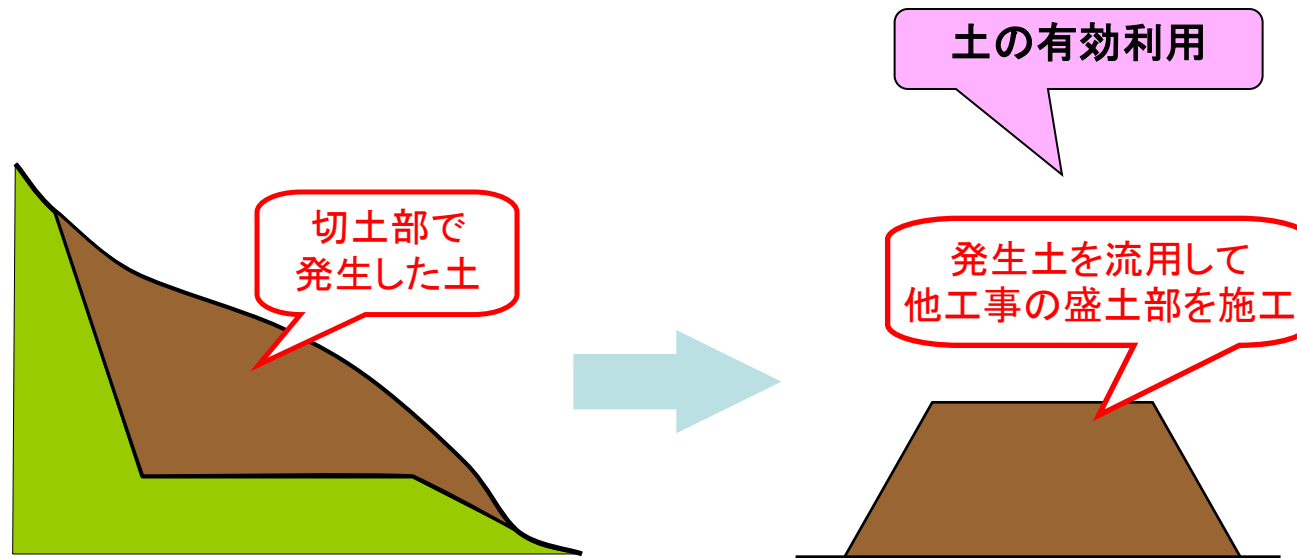


コスト削減の取り組み

◆盛土材の有効利用

- 切土による発生土(約2.1万 m^3)を他工事の盛土に流用することにより、処理費を削減

約0.7億円のコスト削減



対応方針（案）

○中洞・市場拡幅の整備は、災害時の円滑な救援・救急活動を支援し、有効に機能するネットワークとなる。

○地元住民および関係自治体から事業の継続、早期完成の要望がある。



＝供用に向け、事業継続＝

平成29年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔道路建設課〕

番号	5	事業名 (路線・河川名等)	道路改築事業（社会資本整備総合交付金） (主要地方道 岐阜県南大野線 重里～森工区)
事業実施箇所	瑞穂市 重里 ～ 瑞穂市 森	事業主体	岐阜県
採択年度	平成24年度	完了予定年度	平成34年度
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>主要地方道岐阜県南大野線は、岐阜県岐阜市を起点とし、岐阜県揖斐郡大野町へ至る延長約22kmである。当該事業は、このうち瑞穂市重里～瑞穂市森の607m区間をバイパス整備するものであり、岐阜市中心部と周辺市町村とのアクセス強化と、安全で円滑な交通の確保を目的としている。</p>		
事業概要	<p>事業延長：607m 車道幅員 ：3.00m×2車線 自転車歩道幅員：3.50m（両側）</p>		
概要図	<p>位置図 事業箇所 岐阜県 石川県 福井県 滋賀県 三重県 富山県 高山市 長野県 岐阜市 美濃加茂市 中津川市 大垣市 愛知県 多治見市 当該工区</p> <p>写真：現道状況</p> <p>至 岐阜市日野</p> <p> 〓 事業区間 〓 主要地方道 〓 一般県道 </p> <p>(C) 岐阜県</p>		

事業再評価 道路改築事業

主要地方道 岐阜巣南大野線

しげさと もり
(重里～森工区)

岐阜県 県土整備部 道路建設課

平成29年8月



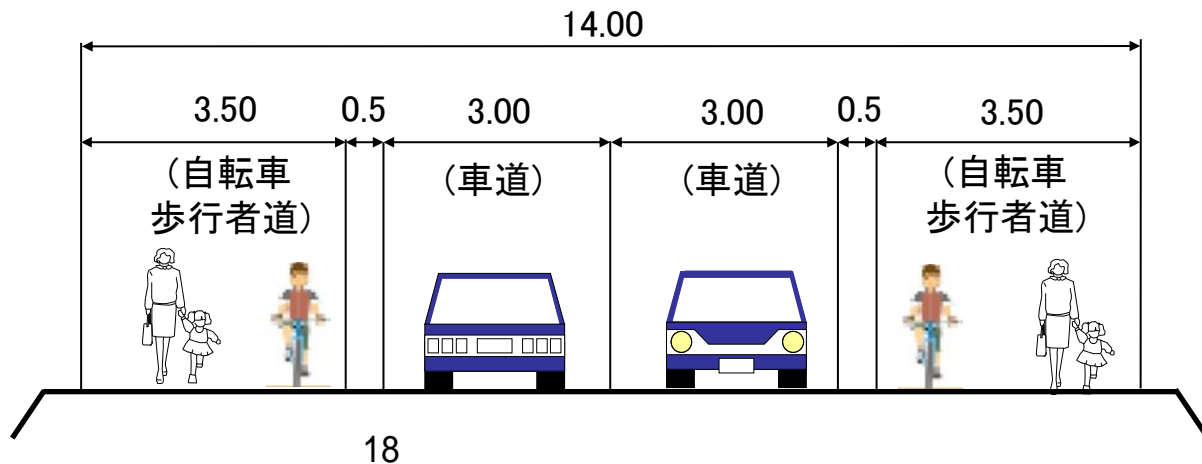
位置図



事業概要

- ◆起 終 点：瑞穂市 ^{みずほし} 重里 ^{しげさと}～森 ^{もり}
- ◆全体延長：607m
- ◆総事業費：約9.4億円
- ◆事業着手：平成24年度
- ◆完成予定：平成34年度
- ◆幅 員：車道 3.00×2車線
：自転車歩行者道 3.50×2車線

標準横断面図



事業の目的

- 渋滞緩和による円滑な交通の確保
岐阜市中心部と周辺市町村間のアクセス強化
- 隘路の解消による安全な交通の確保
現道は歩道がなく、バイパス整備により歩行者の安全性を確保



費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 87%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 12%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 1%

投資的効果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 2.3$$

※費用便益分析マニュアル（国土交通省H20.11）に基づき算出

事業の進捗状況

全体進捗率16%

用地補償取得率89%

工事進捗率10%

※ 平成28年度末 事業費ベース



写真①: 起点→終点方向



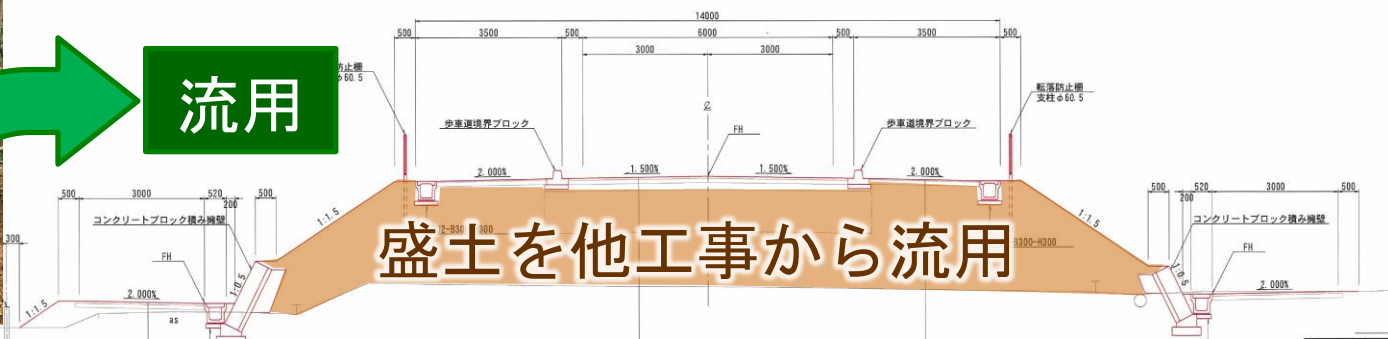
写真②: 終点→起点方向



コスト削減の取り組み

◆盛土材の流用によるコスト削減

■盛土材 $V = \text{約} 2,400 \text{ m}^3$ を他工事から流用することで
約 4.8 百万円のコストを削減



約 $2,400 \text{ m}^3$ を
他工事から流用

約 4.8 百万円の
コスト削減

対応方針（案）

○主要地方道岐阜巣南大野線は、渋滞緩和による地域間の連携を強化し、安全で円滑な交通を確保するネットワークとなる。

○地元住民および関係自治体から事業の継続、早期完成の強い要望がある。



＝供用に向け、事業継続＝

平成29年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔道路建設課〕

番号	6	事業名 (路線・河川名等)	道路改築事業（県単事業） 一般県道 肥田下石線 土岐津工区・下石工区
事業実施箇所	多治見市下沢町 ～土岐市下石町	事業主体	岐阜県
採択年度	平成10年度	完了予定年度	平成40年度
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業（経過措置）		
事業目的	<p>一般県道肥田下石線は岐阜県土岐市肥田町を起点とし、岐阜県土岐市下石町へ至る延長約8kmの幹線道路である。当該事業は、現道のバイパス路線となる4,200mの2車線道路であり、東濃西部都市間連絡道路の一部区間に位置づけられている。また、国道19号等の代替路線としての機能強化や、東海環状自動車道：土岐南多治見ICへのアクセス向上、交通渋滞の緩和、地域産業や救急医療活動の支援を目的としている。</p>		
事業概要	<p>事業延長：4,200m 車道幅員 ：3.25m×2車線 歩道幅員 ：3.00m（片側）</p>		
概要図			
写真①			
写真②			
写真③			

事業再評価 道路改築事業

一般県道 肥田下石線 土岐津・下石工区

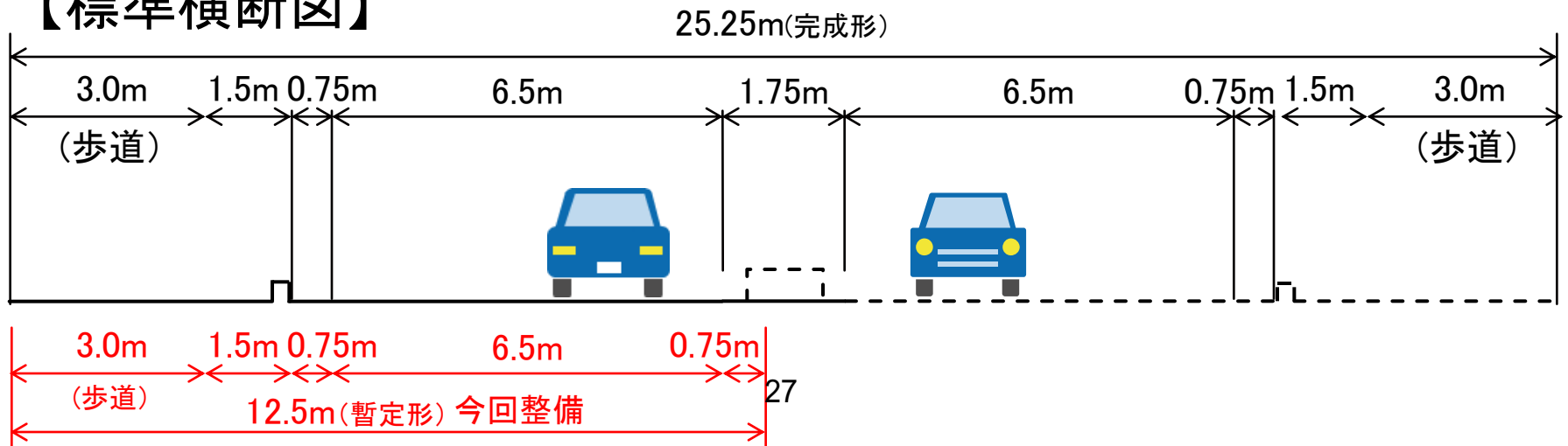
県土整備部 道路建設課
平成29年8月



事業概要

- ◆起 終 点：多治見市下沢町たじみ しもざわちょう～土岐市下石町とき おろしちょう
- ◆全体延長：4,200m
- ◆総事業費：約155億円
- ◆事業着手：平成10年度
- ◆完成予定：平成40年度
- ◆幅 員：車道 3.25m×2車線
歩道 3.00m

【標準横断図】



事業の目的

■ 骨格幹線の代替機能

東濃西部都市間連絡道路の一部を担い、骨格幹線の代替として機能

■ 混雑緩和

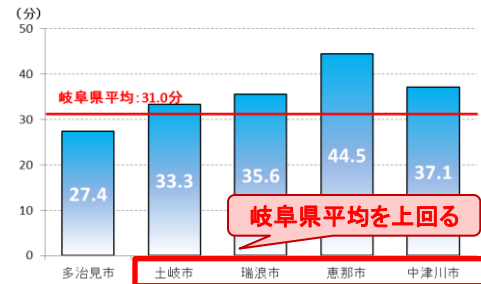
国道19号や多治見恵那線で混雑しているが、交通分散を図る

■ 救急支援

第三次救急医療機関へのアクセス性が向上し救急搬送時間が短縮



○ 救急搬送平均収容時間



出典: 第3次 岐阜県地域医療再生計画

重篤な患者の救命のため、転院搬送する際、**県立多治見病院へ搬送**する。国道19号虎溪大橋や弁天町交差点周辺で混雑するため、**搬送時の交通マヒ**のリスクが恐ろしい。中央自動車道は、ICへのアクセス距離が長く、現状では所要時間の短縮は見込めないが、土岐市立総合病院付近まで新たな道路が整備されれば、**アクセス向上により搬送経路のひとつとして選択する可能性がある。**

出典: 土岐市消防本部ヒアリング調査結果



費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 87%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 11%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 2%

投資的効果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.2 \text{ (全体)}$$

前回再評価時
(H24年度)
1.2(全体)

※費用便益分析マニュアル（国土交通省H20.11）に基づき算出

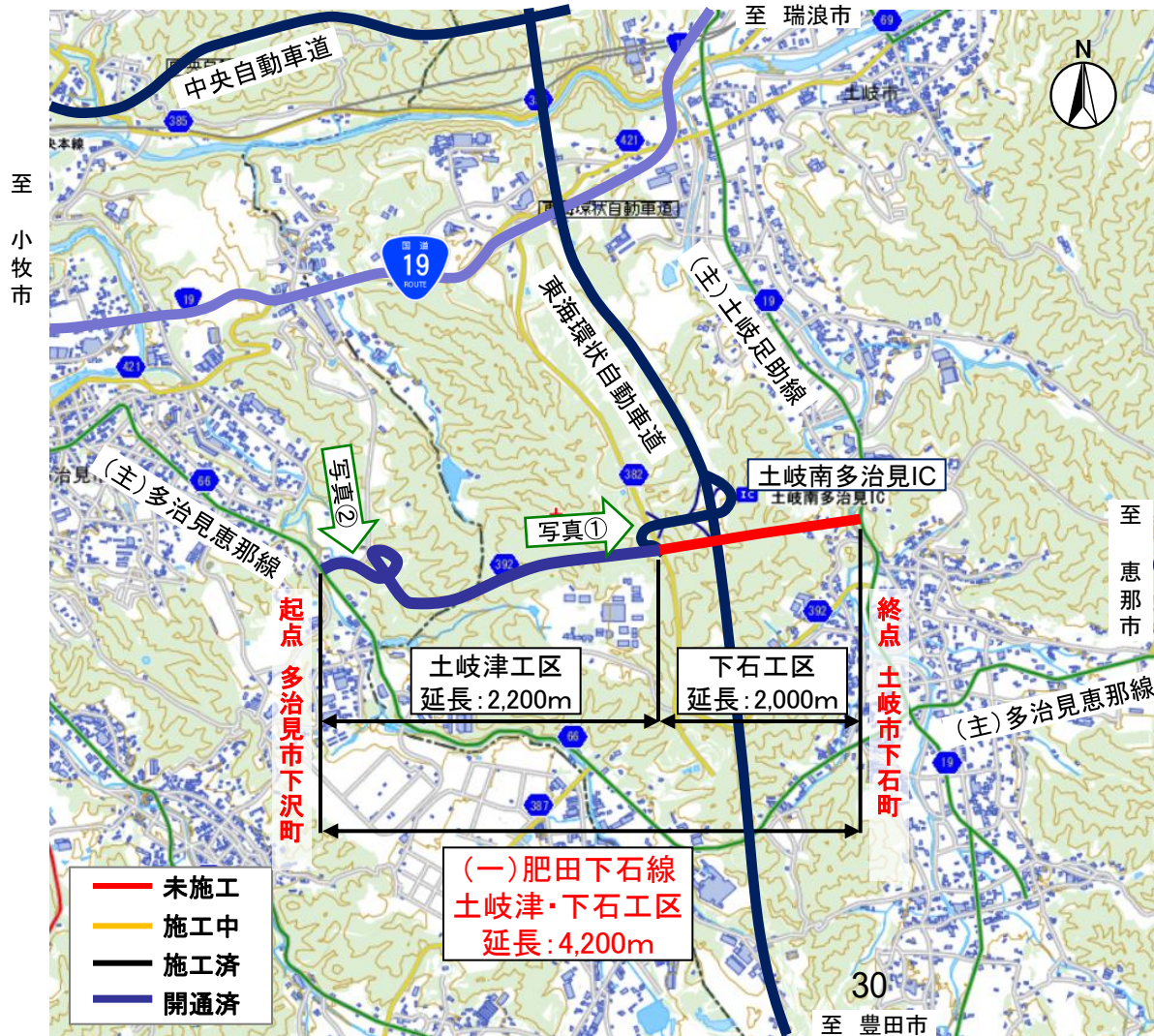
進捗状況

全体進捗率 54%*

用地補償進捗率81%*

工事進捗率41%*

※ 平成29年度末事業費ベース

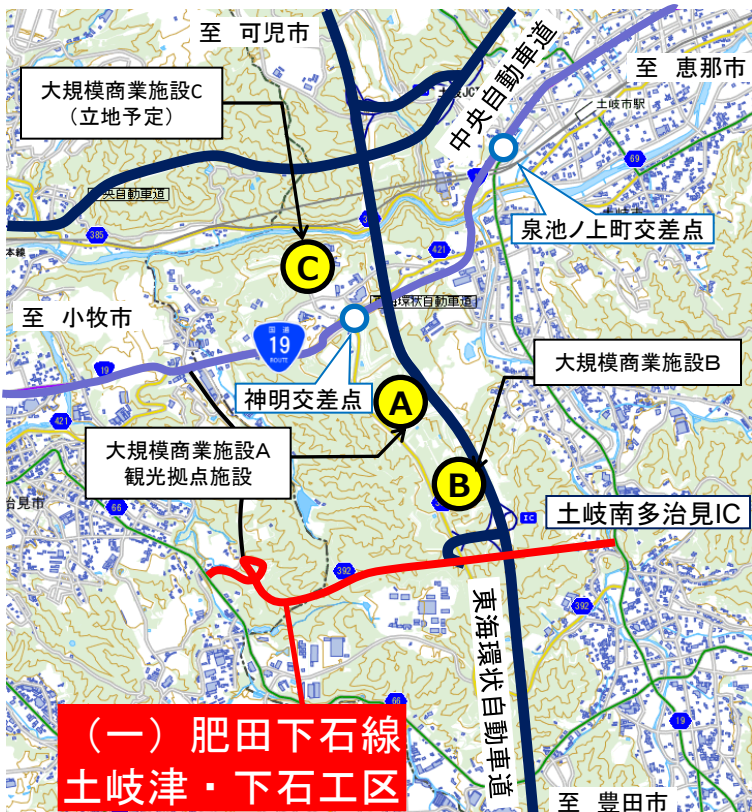


事業を巡る社会経済情勢等の変化

新たな地域開発による交通集中への対応

- 周辺には、大規模商業施設 A が立地。県内で観光客数が最も多い。
- 周辺には、新たな商業施設 B が立地し、大型商業施設 C の開発計画も進む。
- 当該地域の交通集中への対応のため、当該工区の整備が必要。

○ 地域開発が進む土岐南多治見IC周辺



■ 大規模商業施設A



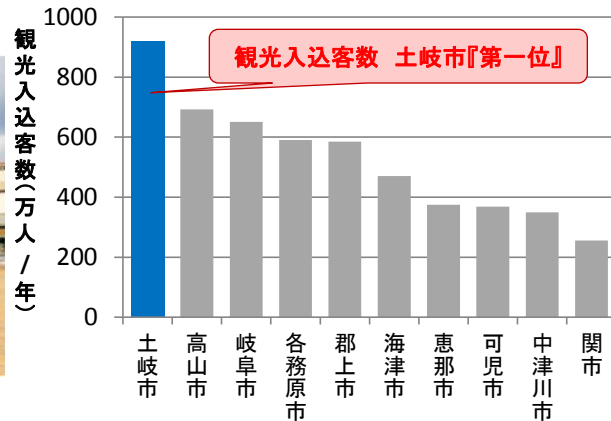
出典：土岐プレミアムアウトレットHP

■ 大規模商業施設C (イメージ)



出典：土岐口財産区HP

岐阜県内 市町村別観光入込客数(万人/年)



出典：岐阜県観光入込客統計調査 (H27)

休日は、大規模商業施設Aへの交通集中により、土岐南多治見ICは非常に混雑する。混雑を避ける交通は、土岐IC、五斗時SICを經由して一般道よりアクセスする。また、神明交差点の混雑を避けるため、泉池ノ上町交差点で左折するよう警備員が誘導している。

出典：土岐市ヒアリング調査結果

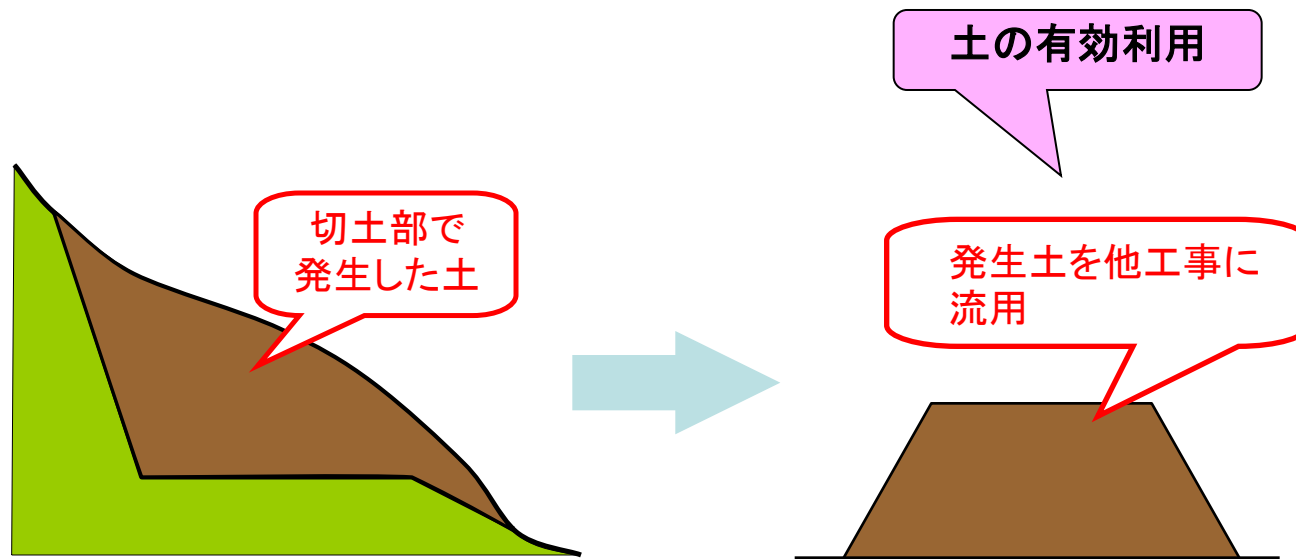


コスト縮減の取り組み

◆発生土の有効利用

■切土による発生土(約60万 m^3)を他工事に流用することにより、処理費を削減

約15億円のコスト縮減



本事業の特徴(環境への配慮)

◆希少植物(シデコブシ)の保全

- 影響が最小限となるよう、盛土形状から擁壁構造に変更
- 工事の影響範囲の個体を移植

※シデコブシ(離弁花植物 モクレン科)[岐阜県HPより引用]

●分布

東海地方に固有の種。本州中部地方の伊勢湾に面した地域に分布。県内では美濃地方東部の東濃地域を主体とした地域に分布。

●貴重性

環境省RDL 絶滅危惧Ⅱ類、岐阜県RDL 準絶滅危惧



◆希少猛禽類に配慮した工事推進

- 近隣にオオタカ営巣地が存在
- 有識者アドバイスやモニタリングにより、繁殖期間中は工事を休止
- ヒナの行動や巣立ちを確認したのち、工事を再開

※オオタカ(タカ目タカ科)[岐阜県HPより引用]

●分布

北海道、本州、四国で繁殖する。近年、九州でも繁殖が確認された。県内では、高山市、下呂市、郡上市、山県市、多治見市、本巣市など県下全域に確認記録がある。

●貴重性

環境省RDL 絶滅危惧Ⅱ類、岐阜県RDL 準絶滅危惧



対応方針（案）

○（一）肥田下石線 土岐津・下石工区の整備は、骨格幹線道路の代替機能や混雑緩和、救急医療支援等、当地域の発展や安全に大きく寄与する。

○多治見市及び土岐市から早期完成の強い要望がある。



＝供用に向け、事業継続＝